

患者さんへ

この研究は、弘前医療福祉大学大学院修士課程の一環として行われています。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	大腿骨近位部骨折患者への骨粗鬆症治療薬投与時における口腔衛生管理の実態と有用性に関する研究
研究責任者 (共同研究者)	原田千明 所属：弘前医療福祉大学大学院、地域健康支援学研究科、健生病院リハビリテーション科
研究目的と意義	当院では脆弱性骨折で入院した患者さんに対して、二次骨折を予防するために多職種連携で骨粗鬆症の評価、治療、転倒予防、栄養指導など包括的に行ってています。歯科衛生士は骨粗鬆症治療薬の副作用による「薬剤関連顎骨壊死」のリスク管理のために、入院早期から歯科口腔アセスメントを実施し、歯科治療が必要な患者さんには地域の歯科に繋いでいます。 本研究の目的は、大腿骨近位部骨折を契機として入院する脆弱性骨折患者において、二次骨折予防をめざした骨粗鬆症治療薬（特にビスホスホネート製剤）の早期導入に際し、口腔衛生管理が果たす役割と有用性を検証するものです。
調査対象となる方 (該当期間)	2020年12月1日から2024年3月31日までの期間に、健生病院整形外科病棟に大腿骨近位部骨折で入院した50歳以上の患者を対象とします。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 性別、年齢、身長、体重、主診断名、併存疾患、骨密度、二次骨折発生の有無、顎骨壊死発生の有無、血液検査データ、口腔健康評価ツール（Oral Health Assessment Tool : OHAT）」
研究期間	倫理委員会承認日（2026年 1月 9日）より1年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報（イニシャル、生年月日、当院IDなど）は削除します。また、研究成果は論文作成及び学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：原田 千明 電話番号：0172-55-7717